

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【公開番号】特開2011-172755(P2011-172755A)

【公開日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-036

【出願番号】特願2010-39325(P2010-39325)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月22日(2012.5.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件の成立にもとづいて、各々を識別可能な複数種類の識別情報の可変表示を行う可変表示手段を備え、前記可変表示手段に表示結果を導出することで遊技の結果を確定し、遊技の結果が特定遊技結果となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に移行させる遊技機であって、

前記始動条件の成立にもとづいて、前記識別情報の可変表示を行う権利を所定の上限数を限度として記憶する保留記憶手段と、

前記可変表示手段における所定の保留表示領域に、所定の保留特定情報を前記保留記憶手段に記憶された権利の数を特定可能に表示する保留表示制御手段と、

前記保留記憶手段に記憶された1の権利にもとづく前記識別情報の可変表示の表示結果が導出表示されるまでに、前記遊技の結果を特定遊技結果とするか否かを決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果にもとづいて、前記識別情報の可変表示が開始されてから所定のリーチ状態が成立した後、非特定表示結果を仮導出表示した後に該識別情報を再変動表示させる特定リーチ用可変表示パターンを含む前記識別情報の可変表示パターンを決定する可変表示パターン決定手段と、

前記可変表示パターン決定手段が決定した可変表示パターンを用いて前記識別情報の可変表示を実行する可変表示制御手段と、

前記可変表示手段における前記保留表示領域に重畳しない非重畳位置から該可変表示手段における前記保留表示領域の少なくとも一部に重畳する重畳位置に可動可能に設けられる可動物と、

前記可変表示パターン決定手段が前記特定リーチ用可変表示パターンを用いて前記識別情報の可変表示を実行すると決定したことにもとづいて、前記可動物を前記非重畳位置から前記重畳位置に移動させる可動演出を実行するか否かを決定する可動演出決定手段と、

前記可動演出決定手段が可動演出を実行すると決定したときに、前記識別情報の可変表示の表示結果として前記非特定表示結果が仮導出表示されてから前記識別情報が再変動表示されるまでに前記可動演出を実行する可動演出実行手段と、

を備え、

前記保留表示制御手段は、前記可動演出実行手段が前記可動演出を実行するときに、前

記所定の保留表示領域に保留特定情報を表示しているか否かにかかわらず、前記所定の保留表示領域を前記重畠位置にある前記可動物と重畠しない位置に変更することを特徴とする遊技機。